

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 安城市立里町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒446-0001
安城市里町足取1番地5

E-mail satomachi@anjo.ed.jp

Website <http://www.anjo.ed.jp/~satomachi/>

児童生徒数 男子 320名 女子 274名 合計 594名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域理解)

3. 活動内容

3 実践

(1) 総合的な学習・生活科

地域の教育素材（人・もの・こと）を活用しながら、自ら気づき、考え、実行する授業を展開する。そして、学んだことを他へ発信する。その発信する場として「里小まつり」を位置づけて保護者や地域、他の児童へ問いかけ、考えをさら

に深める機会としている。

以下に主な活動について報告する。

<1年生>「一緒に遊ぼう」

学区にある自然での遊びを体験したり、自然を利用したおもちゃ作りをしたりした。新1年生との交流会で、多くの園児に遊びを教え、一緒に遊ぶ活動を行った。自分より幼い子に親切に教える姿が見られた。「里小まつり」では、保護者や地域の方に作ったおもちゃを紹介し、一緒に遊ぶ中で自分の工夫を話す姿が見られた。

<2年生>「野菜を育てよう」

年間通して、野菜栽培に取り組んだ。一人一苗で愛着をもって世話をし、成長の様子や育てる過程で生じた問題について話し合ったり、解決したりした。収穫した野菜を使って調理していただき、収穫の喜びを味わった。

<3年生>「もしも安城市に大地震がきたら」

熊本地震を導入にし、学区を歩き防災マップをつくったり、市役所の危機管理課の人に防災倉庫を見せていただいたりして、自分たちが住んでいる安城市に地震が起こったときにどうしたらよいか、どんな備えをしたらよいか考えた。そして、「里小まつり」では、生き抜くための「防災」、住みやすい地域づくりについて考えたことを発表した。

<4年生>「水の環境探検隊」

水は、どこからきてどこへいくのだろうかという問いを、浄水場や下水道処理施設の見学を通して、その仕組みを学んだ。水の大切さ、節水について考え、節水を全校に呼びかける活動を行った。そして、里小まつりでは、その成果や問題点を発表した。

<5年生>「お米ツアーへ、ようこそ」

学区の農家の協力を得て、田植えや稲刈りなどの稲作体験を行った。その体験や農家の人の話から、米の自給率や米の良さなどそれぞれが疑問や関心をもったことについて追究した。お米の良さをもっと知ってもらおうと、米にかかわる食生活や農業の問題について発表した。

<6年生>「私たちの里、そして未来」

地域の歴史や人々について学び、先人の思いにふれる中で、地域の未来について考える学習を進めた。自分たちが暮らしている里町を支えている人に直接会って、話を聞き、その思いを知った。そして、里小まつりでは、自分たちにもできることはないかと考え、未来の里町について、提案した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）